

## R S ウイルス感染症に関する注意喚起について



令和元年 7 月 3 1 日 (水)  
担当：福島県保健福祉部  
地域医療課  
課長：三浦 爾  
024-521-7271 内線 2757

福島県感染症発生動向調査週報 2019 年第 30 週 (7/22 ～ 7/28) において、小児科定点医療機関 (50 医療機関) からの R S ウイルス感染症の報告数が 128 件となり、前週の 2 倍になりました。

R S ウイルスは通常冬季に流行する感染症ですが、近年は夏から流行しており、今期は第 28 週頃から患者報告数が増加しています。

今後も増加するおそれのあることから、R S ウイルス感染症の予防について注意喚起をお願いします。

### 記

#### 1 R S ウイルス感染症とは

【感染経路】R S ウイルス感染症は、R S ウイルスに感染している人の咳やくしゃみ又は会話をした際に飛び散るしぶきを吸い込む飛沫感染、感染している人との直接の濃厚接触やウイルスがついている手指や物品 (おもちゃ等) を触ったり又はなめたりすることによる間接的な接触で感染します。

【発生状況】R S ウイルス感染症は、R S ウイルスの感染による呼吸器の感染症で、発症の中心は 0 歳児と 1 歳児です。

【症状】発熱、鼻汁、咳などの症状があり、多くは軽症ですみませんが、重症の場合には、気管支炎、肺炎へと進展していくこともあるため、感染によって重症化する可能性のある基礎疾患を有する小児や、特に 6 ヶ月未満の乳児は注意が必要です。

【治療】R S ウイルス感染症の治療は、基本的には対症療法を行います。

#### 2 予防対策について

予防としては、流水・石鹸による手洗い又はアルコール製剤による手指衛生が重要です。また、子どもたちが日常的に触れるドアノブ、手すり、おもちゃ、コップ等を、アルコールや塩素系の消毒剤等でこまめに消毒しましょう。

また、年長児や大人で咳などの呼吸器症状のある人は、可能な限り乳幼児との接触を避ける、マスクをするなどの対策が大切です。